

新城市民病院研修レポート

豊橋市民病院

へき地医療研修ということで 4 週間の期間でしたが貴重な研修ができて大変勉強になりました。医療スタッフの方々はもちろんのこと地元の患者様方達には大変感謝しております。

私は三河一宮の育ちであり新城市民病院は実家からもっとも近い市民病院でした。子供のころから市民病院について話は聞いていました。一時期は経営危機にまで陥っているとの話も聞いており研修前には少し不安もありました。しかし実際に総合診療科で研修させていただきますと様々な主訴の患者に対応している先生方の姿がありました。何科だから受け付けないとかではなく、すべての症状に対して親身に聞く先生方の姿を見てまさに総合診療科であると感じました。

一般の内科的治療というのは設備が整っている状況でできる限り疾患に対して最善を尽くす治療をしていきます。しかし総合診療科は患者や家族の満足度に重点を置いた治療をしていきます。新城市で今後も増えてくると予想される高齢者の在宅診療においてますます必要になってくるのは総合診療科であると感じました。

田舎であるから最新の医療が受けられないと考えがちですが、新城市民病院では名郷先生による EBM 勉強会が他の病院とインターネット中継で月に1度開催されておりしっかりと情報収集もしていることに驚きました。今まで論文を読むときは自己流でしたがこの機会に読み方も勉強させていただき大変感謝しております。

外来患者も 1 例 1 例カンファレンスで議論をしているためフィードバックがしっかりされており、普段私がしている慌ただしい救急外来ではスルーしてしまう疑問も解決していき大変貴重な経験ができました。

総合診療科という概念の普及がまだされていない中、頑張って診療している先生、医療従事者の姿を見ると東三河の地域医療に貢献したいと思っている自分の姿勢について考えざるを得なくなりました。自分の今後の進路について親身になって相談に乗ってくれた先生、医療従事者の方には大変感謝しております。まだ今後の方針は決まっていますが、今回の研修は私の今後の方針にとっても大きな影響を与えたことは間違いありません。

個人的なことではありますが、子供のころを思い出す近所で研修できたことに一番感謝しております。ありがとうございました。